

図書室だより vol.110

★7～8月の図書室利用について★

- ④ 7/8(水)から長期貸出を開始します。一人5冊まで、返却期限は9/1(火)です。
- ④ 課題図書・推薦図書は一人1冊、先着順に貸出します。お早めどうぞ！
- ④ 開室スケジュールは下記のとおりです。

7～8月							8月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
							3	4	5	6	7	8	9
		8	9	10	11	12	○	○	○	○	○	休	休
		○	○	○	休	休	10	11	12	13	14	15	16
13	14	15	16	17	18	19	休	休	休	休	休	休	休
○	○	○	○	○	△	休	17	18	19	20	21	22	23
20	21	22	23	24	25	26	休	休	休	○	○	休	休
休	○	○	○	○	休	休	24	25	26	27	28	29	30
27	28	29	30	31	8/1	2	休	○	○	○	○	休	休
○	○	○	○	○	休	休	31						
							○						

○は9:10～12:00 および 13:00～16:50(12:00～13:00は昼休み)、△は9:10～11:50です。

☆図書委員からのオススメ☆

『祝山(いわいやま)』 加門 七海 著

夏ということもあり今回はホラー小説を紹介したいと思います！！

ある日、作家・鹿角(かすみ)は友人からメールをもらう。

それは、廃墟へ肝試しに行ったあとから友人の周りで奇妙なことが起こっているのを、

相談にのって欲しいとの内容だった。

鹿角はホラー小説を得意とする作家で、締め切り間近の作品を抱え、

ネタになればいいかな、という軽い気持ちで友人に会ったのだが、

廃墟で撮影したと思われる写真を見せられた瞬間、

強烈な嫌悪感と恐怖感が身体中を駆け抜けた。

そして否応なく巻き込まれてしまう…。

これは著者が体験した出来事がベースになっているため、幽霊と遭遇したとか、

凄まじい霊現象に襲われたとかそういう怖さではなく、

肝試しに行った友人たちが、徐々に壊れていく過程がリアルで怖い。

まるで、恐怖体験記を読んでいるような感じ。

‘祟られる’という不気味な怖さがじわじわと迫ってくる。

さらに、「祝山」の本当の意味が分かった時の衝撃…

鳥肌がおもわず立ってしまうような内容となっています。

この続きはぜひ読んでみてからの楽しみです！